

研究についての情報開示

「神経変性疾患 iPS 細胞の作製とそれを用いた疾患解析に関する研究」について

研究の意義・目的

ヒト iPS 細胞は、ヒト ES 細胞に比して倫理的問題の少ない多能性幹細胞として、臨床への応用が強く期待されている細胞であり、その一つの応用が疾患特異的 iPS 細胞の作製です。これは、特定の疾患に罹患している患者から iPS 細胞を作製、疾患と関連した組織細胞を作製することで、病態解明及び治療法開発への研究を行うというものです。

研究の方法

平成 21 年 10 月 6 日から本日の間に、iPS 細胞樹立のために皮膚あるいは血液を提供していただいた方を対象とします。参加者の方からは既に遺伝子解析を含む研究利用の同意を頂いておりますが、同意を頂いた日時によっては再度同意を確認する必要があります。いったん同意が得られた場合でも、その後、同意を撤回された場合、試料は破棄いたします。作製された iPS 細胞を用いた研究として 1) 遺伝子挿入領域の同定、2) 発現プロファイル解析、3) メチル化プロファイル解析、及び 4) 全ゲノムおよび全エピゲノム解析を京都大学物質-細胞統合システム拠点・iPS 細胞研究センターとの共同研究で行います（研究期間 承認後～平成 30 年 3 月 31 日）。

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒770-0042 徳島市蔵本町 3 丁目 18 番地 15

徳島大学大学院 HBS 臨床神経科学分野

Tel : 088 - 633 - 7207 (内線 2308)

研究責任者 徳島大学大学院 HBS 臨床神経科学分野教授 梶 龍児

研究担当者 徳島大学大学院 HBS 臨床神経科学分野講師 瓦井俊孝